

# 系譜評価に主眼をおいた那須烏山市の近代化遺産の再評価

足利工業大学 工学部 都市環境工学科  
 福島研究室(土木史研究室)  
 関根慶 高橋雅之

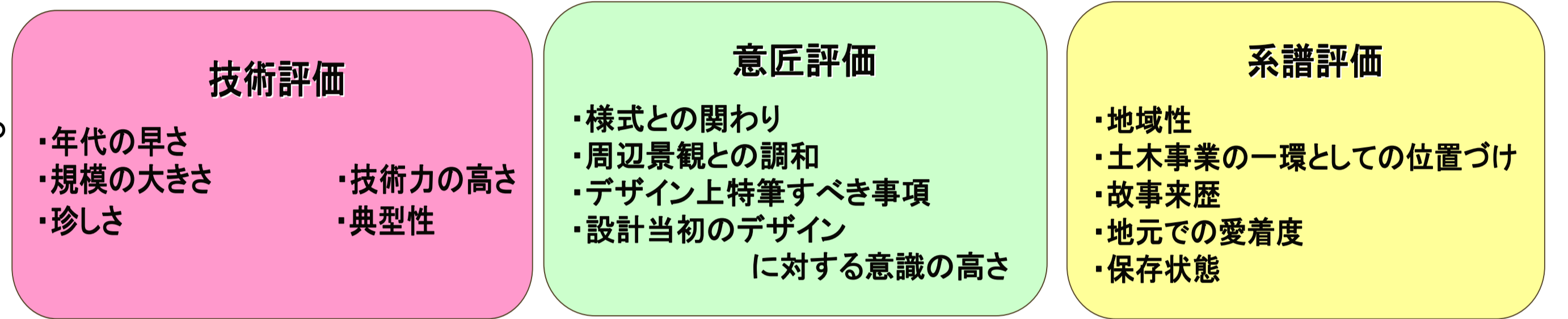
## 1 研究の背景・目的

近代化遺産の評価は、技術評価・意匠評価・系譜評価の3つの指標が設定されていますが、従来、その評価項目の内容から技術評価と意匠評価に偏重する傾向があります。そのため地域にとってかけがえのない遺産であっても、評価ランクの低い遺産は軽視され、埋没してしまうこともあります。しかし近代化遺産とは、地域の発展を支え牽引してきたものであり、“地域の誇り”となり得るものです。従って、系譜評価、特に地域との関わりに主眼をおいた評価も重要であると考えられます。そこで本研究では、栃木県那須烏山市を事例とし、系譜評価(地域評価)に主眼をおいた調査を行い、再評価することを目的としています。

## 2 近代化遺産の評価基準

近代化遺産の評価には、技術・意匠・系譜の3つの評価軸があります。これらの指標は、平成3・4年に中部5県で実施された近代土木遺産調査を契機として、土木学会の『近代土木遺産調査小委員会』により確立されました。

技術評価・意匠評価・系譜評価の内容は右図のとおりです。



## 3 既存報告書に示された那須烏山市の近代化遺産

本研究では、近代に建造された遺産13件と、近代における産業振興との関わりから近代化遺産として取り上げた耕便門(近世に開削)の計14件について、既存の報告書・文献に記載されている内容を調査しました。

右の表は境橋について記載されている既存の報告書・文献の名称と、記載されている内容をまとめたものです。他の遺産についても同様にまとめるとともに、各々の内容についての詳細を整理致しました。

遺産名	報告書・文献	記載内容
境橋	栃木県の近代化遺産	路線名・橋長・形式・完成年・その他概要
	日本の近代土木遺産	路線名・橋長・幅員・形式・完成年
	とちぎの土木遺産	路線名・橋長・幅員・建造年・設計者・形式・その他概要
	烏山町史	路線名・橋長・幅員・耐荷重量・竣工年次・その他歴史
	栃木県土木史	路線名・橋長・主要形式・完成年・所在地
	栃木県大百科事典	路線名・橋長・幅員
	重要橋梁構造調査表	路線名・設計荷重・橋種及型式・工事施工年度

## 4 系譜評価に主眼をおいた調査の成果

今回の詳細な調査の実施により、系譜評価の内容だけに止まらず、技術・意匠評価の内容についても新たな事実が確認され、下表にまとめました。この内、①境橋では、設計者が橋梁設計の第一人者・成瀬勝武であること、県下初の水中施工により建造されたこと、施工は地元の船山土建工業(株)(さくら市)と吉田組(那須烏山市)であることなどが判明しました。②烏山防空監視哨では、コンクリート強度に関すること、材料が地元那珂川産の川砂利・川砂であることなどが判明しました。③烏山実践女学校講堂では、創設者が地元の新井萬吉であり、また地元の吉田友吉(吉田組)が建築を担ったことなどがわかりました。この講堂は、近代の風情をまとった美しさとともに、地元の熱い息吹を現在に伝えている遺産と言えます。

①

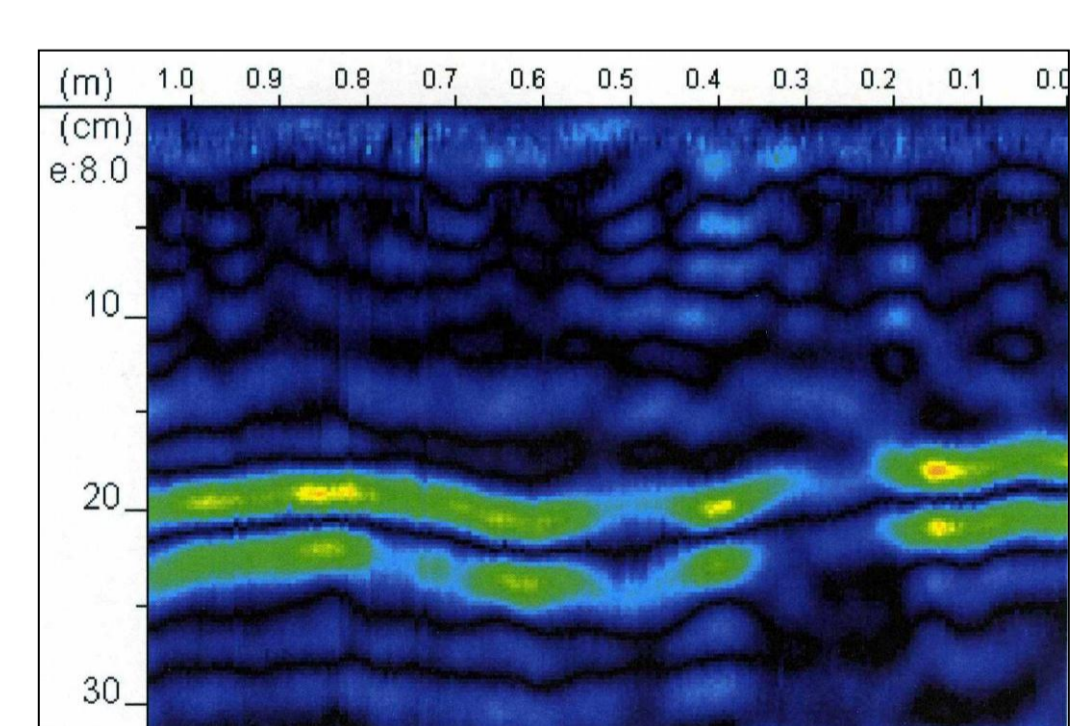
②



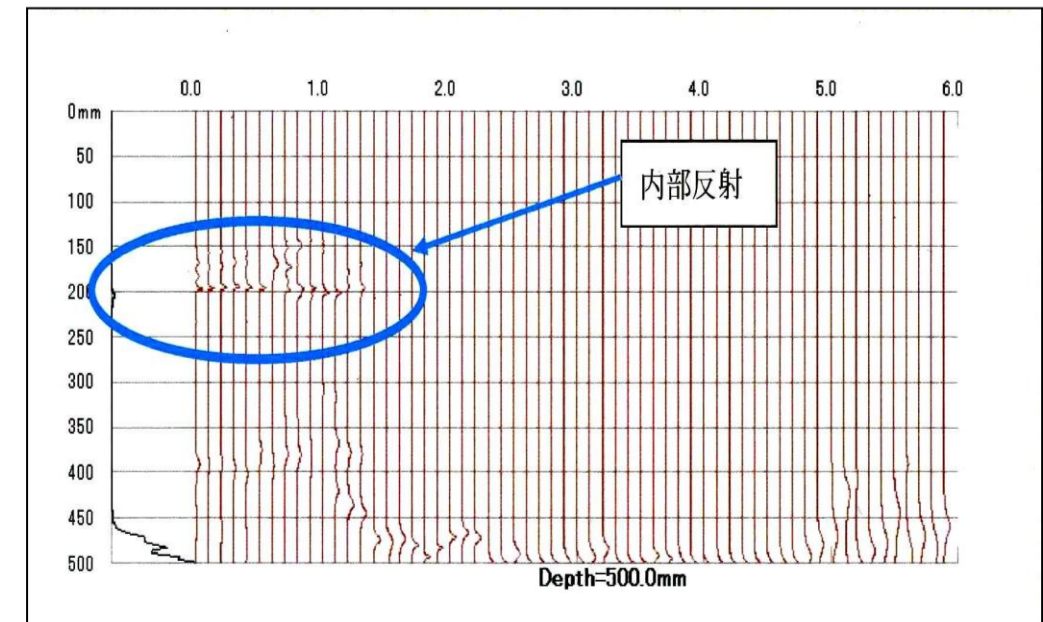
設計者(成瀬勝武) 『土木人物事典』より



県下初の水中施工



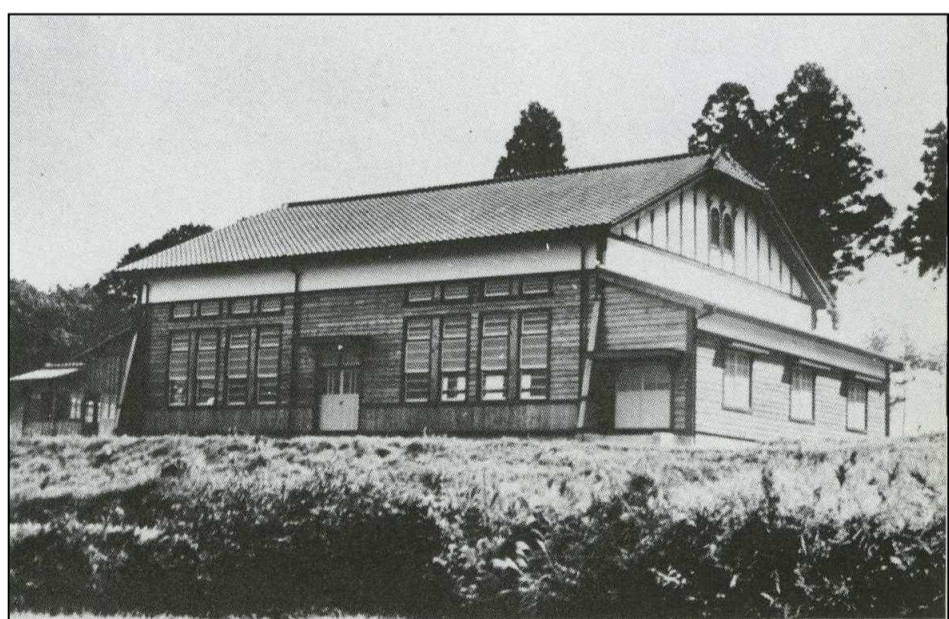
電磁波レーダ測定画像



電磁波レーダデータ 詳細解析結果

(協力:オリジナル設計(株))

③



烏山実践女学校講堂

遺産名	技術評価	意匠評価	系譜評価
境橋	設計者が判明(成瀬勝武) ① 県下初の水中施工 竣工年が確定	2代目橋脚が残っている バルコニーのある橋の希少性	施工者は地元業者(船山土建・吉田組) 保存良好 フォトコン→愛着度
烏山通運(石造り)倉庫群	建造年 構造	バットレス	人脈・技術者(新井萬吉) 材料 起業意識
森田トンネル	諸元 セメント量 断面形状		鉄道唱歌(地元の風光が詠み込まれている) 地形(勾配)
国鉄烏山駅舎 (JR烏山線烏山駅舎)	当時における典型的な駅舎建築物		人脈・技術者(吉田組)
東京動力機械製造株式会社地下工場跡 (鳥崎酒造株式会社地下低温貯蔵庫)			築造過程(地元 勤労奉仕) 位置(歴史的背景・地理条件・自然条件) イベントへの活用(地域情報の発信など)
烏山防空監視哨	コンクリート強度 ②		材料(地元産川砂利・川砂) 位置(歴史的背景・地理条件・自然条件) 勤務者は地元民
神長砲弾貯蔵庫			位置(歴史的背景・地理条件・自然条件) 地盤
烏山病院 (烏山和紙会館)		洋風建築造り	大橋清吉(起業者) 地元業者(船山土建・吉田組) 地域医療の近代化
町立烏山実践女学校講堂 (烏山女子高等学校講堂)	③	バットレス ピラスター ヴェネツィアン・ウィンドウ	新井萬吉(起業者) 人脈・技術者(船山土建・吉田組) 起業意識
烏山字館 (烏山高等学校川俣記念館)			川俣英夫(起業者) 愛着度
耕便門	用水路全体の平均勾配 隧道の内部構造 断面積、土工量 釘り取り		地質 地域開発(産業振興)

## 5 まとめ

- 人物の思い入れ・起業意識・地場産材料等が地域の誇りの醸成となり、遺産は地域との関連において評価されるべきものであることが確認できました。
- 系譜評価に主眼をおいた近代化遺産の調査を詳細に行なった結果、系譜評価の項目に止まらず、技術・意匠の評価項目についても新たな事実が確認できました。このことから、地域に密着した調査の重要性があらためて確認できました。
- 系譜評価の重要性が確認された今回の成果は、低評価の遺産しか有しない都市における取り組みを後押しするものと考えられます。